

[平成16年度設置]

浜松学院大学  
設置に係る留意事項実施状況報告書

学校法人 興誠学園  
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名 キョウムカ シュカンケンカカリチョウ ナワ テツオ  
教務課主幹兼係長・ 名和哲夫

電話番号 053-450-7000

(夜間) 053-450-7000

F A X 053-450-7110

e-mail nawa@hgu.ac.jp

# 大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

学 校 法 人 興 誠 学 園

### (2) 大学名

浜 松 学 院 大 学

### (3) 大学本部の位置

静岡県浜松市中区布橋三丁目2番3号

( 5 ) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

( 5 ) - 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	認 可 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代コミュニケーション 学部	年	人	年次 人	人	平成19年4月より、現代コミュニケーション学部子どもコミュニケーション学科(入学定員50)を届出により設置したことに伴い、現代コミュニケーション学科( 50)定員減
現代コミュニケーション学科	4	150 200	-	600 800	
学士（現代コミュニケーション）					

## 2 授業科目の概要

<現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
情報論概説	1	2			4				
コンピュータリテラシ	1	1			2	4			
コンピュータリテラシ	1	1			2	4			
コンピュータリテラシ	1	1			1	4			
コンピュータリテラシ	1		1			4			
日本語表現法	1		2		4				
スピーチコミュニケーション	1	1							
		<b>廃止</b>							
英語	4	2			2	2			
英語	1	1			1	2			
英語	1	1			1	2			
		<b>廃止</b>							
コミュニケーション・スキル コミュニケーション・スキル	4	2			1	1			
コミュニケーション・スキル	1	1							
コミュニケーション・スキル	1	1							
英語特殊演習	1・2・3・4		2		2	3			
英語特殊演習上級	2・3・4		2						
		<b>未開講</b>							
フランス語	4		2						
中国語	1・2・3・4		2						
ポルトガル語	1・2・3・4		2						

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
コミュニケーション・スキル	生涯スポーツ演習	1	2			1				
	生涯スポーツ実技	1・2・3・4		1		1				
	野外スポーツ実習	1・2・3・4		1		1				
	レジャーレクリエーション概論	2 未開講		2		1				
	レジャーレクリエーション実習	2 未開講		2						
	基礎演習	1	4			5 15 16	2 7 8	1 3 2	1	
基本教育科目	人間の理解	文学と人間	1・2・3・4		2		4			
		ジェンダーを考える	1・2・3・4		2			1		
		芸術の楽しみ	1・2・3・4		2					
		アメリカ社会と大衆文化	1・2・3・4		2			1		
		自己理解と他者理解	1		2		4		1	
	現代社会の課題 社会の認識	憲法	1・2・3・4		2					
		法学入門	1・2・3・4		2		4			
		現代と政治	1・2・3・4 未開講		2					
		経済学入門	1・2・3・4		2					
		現代と経済	1・2・3・4		2		1			
地域と企業		1・2・3・4		2		1				
科学発達と環境問題		1・2・3・4		2						
地域社会とボランティア	1・2・3・4		2							
現代社会における教育	1		2		4		4			
グローバルと多文化共生	国際化とグローバル社会	1・2・3・4		2		4		1		
	情報と人間	1・2・3・4		2		1				
	地域と外国人教育	1・2・3・4		2			1			
	多文化共生研究	1		2						

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基本 教育 科目	現代社会の課題										
	主題演習	2	4			3 6 7	3				
専門 教育 科目	専門・導入科目										
	現代コミュニケーション入門	1	4			4 5	1 2	4			
	専門・基礎科目	現代コミュニケーション理論	1	2			4	1	4		
		コミュニケーション史	2	2				1	4		
		心理学概論	1	2			4	2			
		社会学概論	1	2				1	4		
		社会心理学	1	2				4	1		
		経営学基礎論	1	2			1				
		異文化コミュニケーション	1	2			1				
	専門・基幹科目	コミュニケーション技法	2		2			1	4		
		行動科学	2		2				1		
		発達心理学	2		2		4				
		産業心理学	2		2			4	1		
		統計学	2		2				1		
		経営管理論	2	4			1 2				
経営組織論		2	4			1					
言語学概論		2		2							
比較文化		2		2		1					

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門教育科目 専門・展開科目	対人コミュニケーション論	廃止 2		2			1			
	対人コミュニケーション	2		2						
	グループワーク(集団心理療法)	未開講 <del>2・3・4</del>		2			1			
	心理学研究法	未開講 <del>2・3・4</del>		2			1	1		
	心理学基礎実験	未開講 <del>2・3・4</del>		2			4	1		
	心理学実験	未開講 <del>3・4</del>		2				1		

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門 教育科目	専門・ 展開科目	未開講								
		認知心理学 <del>2・3・4</del>	2					1		
		人格診断法 カウンセリング <del>2・3・4</del>	2				1			
		臨床心理学 <del>2・3・4</del>	2			4	4	4		
		家族心理学 <del>2・3・4</del>	2				4	4		
		教育心理学 <del>2・3・4</del>	2			4				
		青年心理学 <del>2・3・4</del>	2							
		青年の発達心理 <del>2・3・4</del>	2							
		未開講								
		コミュニティ心理学 <del>2・3・4</del>	2				1			
		未開講								
		消費者心理学 <del>2・3・4</del>	2							
		未開講								
		職業心理学 <del>2・3・4</del>	2				4	1		
未開講										
教育社会学 <del>2・3・4</del>	2			4	4	1				

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門教育科目	ライフランニング	2・3・4 未開講		2		1				
	キャリアガイダンス	3		2		1				
	キャリアデザイン	1		2		1				
	キャリアデザイン	2		2		1				
	キャリアデザイン	3		2		1				
	キャリアデザイン	3		2		1				
	組織行動論	2		4			4	1		
	未開講									
	人的資源管理論	2・3・4		4		1	4			
	未開講									
	人的資源開発論	2・3・4		2			4			
	経営戦略論	3		4		1	3			
	経営情報システム論	2・3・4		4			1			
未開講										
情報ネットワーク論	2・3・4		2							
未開講										
ビジネスプレゼンテーション	2・3・4		2			1				
未開講										
マーケティングマネジメント	2・3・4	廃止		4			1			

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門 教育科目	専門・ 展開科目	マーケティング	2・3・4	4			1			
		未開講								
		マーケティング戦略	2・3・4	2				1		
		ビジネスネットワーク論	2	2		1				
		ビジネスネットワーク演習	2	2						
		実務英語文書	2・3・4	2			1	4		
		簿記原理	2	4			1			
		財務会計論	3	4					4	
		経営分析	3・4 2・3・4	2					4	
		民法（民法総則と物権）	2・3・4	2			4			
		民法（債権）	2・3・4	2			4			
		商法	3・4	2				1		
		地域ビジネス研究	2・3	2			4	2	4	
		企業広報論	2・3・4	2			1			
		未開講								
		ミクロ経済学	2・3・4	4			1			
		マクロ経済学	2・3・4	4			1			
		地域経済論	3・4	2						
		地域と産業	3・4	2						
		未開講								
国際金融論	2・3・4	2			4					

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育科目	専門・ 展開科目	国際通貨論	未開講 <del>2・3・4</del>	2		4					
		国際関係論	3・4	2							
		英語学	2・3・4	2		1	1				
		英語プレゼンテーション	2・3・4	2		4					
		英語プレゼンテーション	2・3・4	2		4					
		英語ディスカッション	2・3・4	2		4					
		英語ディスカッション	2・3・4	2		4					
		英語コミュニケーション戦略	未開講 <del>2・3・4</del>	2							
		英語コミュニケーション戦略	未開講 <del>2・3・4</del>	2							
		英語レクチャー	3・4	2							
		インテンシブ・リーディング	未開講 <del>2・3・4</del>	2		4					
		スピード・リーディング	2・3・4	2		4					
		スピード・リスニング	3・4	2							
		翻訳演習	未開講 <del>2・3・4</del>	2				1			
		通訳演習	未開講 <del>2・3・4</del>	2				4			
		自然言語処理	2・3・4	2		4					
プログラミング演習	2・3・4	2		4							

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	専門・展開科目	インターネット英語演習	未開講 <del>2・3・4</del>	2				1			
		ポルトガル語コミュニケーション	3・4	2							
		ポルトガル語コミュニケーション	3・4	2							
		文化交流論	未開講 <del>2・3・4</del>	2			1				
		日本文化	3・4	2							
		日本文学	未開講 <del>2・3・4</del>	2			4				
		英米文学	未開講 <del>2・3・4</del>	2			1				
		英国口承文芸	2・3・4	2			1				
		英米児童文学	未開講 <del>2・3・4</del>	2			1				
		文芸創作演習	未開講 <del>2・3・4</del>	2			4				
		児童文学	2・3・4	2							
		児童文化	未開講 <del>2・3・4</del>	2							
		現代メディア理論	3・4 <del>2・3・4</del>	2			4				
		広告コミュニケーション	2・3・4	2				1			
		映像文化	3・4	2			1				
		異文化体験実習	1・2・3	2			3	2			

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手
専門・ 展開科目	インターシップ	3		2		2		1		
	外国書講読	2・3・4		2		4	4			
	ゼミナル	3	4			8	5	1	1	
	ゼミナル	3	4			13	5	3		
	ゼミナル	4	4			16	6	2		
	卒業論文	4		6		8	4			
専門教育科目	卒業論文	4				13	5	3		
						16	6	2		
						8	4			
						13	5	3		
						16	6	2		
						8	4			
関連科目	日本語教授法	廃止								
	日本語概論	3・4		2						
	日本語概論	1・2・3・4		2						
	日本語概論	1・2・3・4		2						
	日本語教授法	1・2・3・4		2		1				
	日本語教授法	2・3・4		2		1				
	ホームページ作成演習	2・3		2						
	コンピュータ特別演習	3・4		2						

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	111	0	133	24	126	0	150	
				[ 2 ]	[ 15 ]	[ - ]	[ 17 ]	

( 3 ) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	レジャーレクリエーション実習	2	2	選択	履修希望者がいなかったため
2	経済学入門	2	1・2・3・4	選択	履修希望者がいなかったため
3	キャリアガイダンス	2	3	選択	履修希望者がいなかったため
4	マーケティング戦略	2	2・3・4	選択	履修希望者がいなかったため
5	児童文化	2	2・3・4	選択	履修希望者がいなかったため

( 4 ) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	英語	2	1	必修	英語、英語へと分割し名称を変更した。
2	コミュニケーション・イングリッシュ	2	1	必修	コミュニケーション・イングリッシュ、へと分割し名称を変更した。
3	対人コミュニケーション論	2	2	選択	内容を考慮し「対人コミュニケーション」と名称変更。
4	マーケティング・マネジメント	4	2・3・4	選択	内容を考慮し「マーケティング」と名称変更。
5	日本語教授法	2	3・4	選択	発展させて「日本語教授法・」とした。

( 5 ) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

科目について若干の見直しを行ったが、それはカリキュラムを充実させることに伴うもの（一つの科目を学生の履修を考慮して、二科目に分割したり、無いように合わせて名称を変更したりした）であり、問題ないとする。学生へはオリエンテーション時に周知し、理解を得た。実質的な廃止ではなく、名称変更であったり、分割であったりなので問題なく受け入れられた。

( 6 ) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.07$$

### 3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	備 考			
						(1) 校 舎 等	0 m <sup>2</sup>	28,063 m <sup>2</sup>
校舎敷地								
運動場用地	0m <sup>2</sup>	17,181 -26,058m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	17,181 -26,058m <sup>2</sup>	平成16年3月 運動場用地借用8,877m <sup>2</sup> を 借用先に返還。 平成16年5月変更書提出 済 5,205m <sup>2</sup> 借用 昭和59年10月1日から 30年間 借用先：高林共有土地処 理委員会 2,089m <sup>2</sup> 借用 昭和59年10月1日から 20年間 借用先：生田常雄 41,583m <sup>2</sup> 借用 昭和59年10月1日から 20年間 借用先：生田とみ子 校舎敷地と別地（徒歩30 分）			
小計	0m <sup>2</sup>	45,244 54,121m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	45,244 54,121m <sup>2</sup>				
その他	0m <sup>2</sup>	2,893 3,034m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	2,893 3,034m <sup>2</sup>	平成16年10月 その他の土地を売却。 平成16年10月変更書提出 済			
合計	0m <sup>2</sup>	48,137 57,155m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	48,137 57,155m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	0 m <sup>2</sup>	19,751 m <sup>2</sup> 48,218 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup> 4,533 m <sup>2</sup>	19,751 m <sup>2</sup> 19,751 m <sup>2</sup>	浜松学院大学短期大学部 と共用 平成19年4月全ての校舎を 共用とした			
	( 0 m <sup>2</sup> )	( 18,218 m <sup>2</sup> )	( 1,533 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	28 32 室	36 27 室	1 0 室	5 室 ( 補助職員 1人 )	2 4 室 ( 補助職員 1人 )	教室の用途変更を行なっ た。		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科		19 28 室			子どもコミュニケーション 学科学科を設置し、教員の 所属が変更されたことに よる。		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	現代コミュニケー ション学部 現代コミュニケー ション学科	112,274 [ 11,054 ] 405,225 [ 10,883 ] 404,196 [ 10,778 ] ( 98,996 [ 10,378 ] )	227 [ 62 ] 219 [ 52 ] ( 119 [ 44 ] )	[ ] ( [ ] )	819 638 352 ( 292 )	11,805 ( 11,575 )	0 ( 0 )	図書・視聴覚資料を増加 した。 図書・学術雑誌・視聴覚 資料を増加した。
	計	105,225 [ 10,883 ] 404,196 [ 10,778 ] ( 98,996 [ 10,378 ] )	227 [ 62 ] 219 [ 52 ] ( 119 [ 44 ] )	[ ] ( [ ] )	638 352 ( 292 )	11,805 ( 11,575 )	0 ( 0 )	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	3,235 m <sup>2</sup>		166 席		220,000 冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,511 m <sup>2</sup>		トレーニングルーム		169 m <sup>2</sup>				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費を増額、図書購入費、設備購入費を増額。
		教員 1 人当り研究費等	450 千円	450 千円	図書購入費	千円	4,816 5,000千円	9,000 5,000千円	
	共同研究費等	2,000 千円	3,000 2,000千円	設備購入費	千円	7,188 5,000千円	10,000 2,000千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,230 千円	950 千円	950 千円	950 千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			資産運用収入、手数料収入、等による						

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	浜松学院大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
現代コミュニケー ション学部 子どもコミュニケー ション学科	年 4	人 50	年次 人 -	人 200	学士(現 代コミュ ニケー ション)	倍 0.85	平成19 年度	静岡県浜松市中区 住吉二丁目3番1 号	平成19年度に届 出による設置
大学の名称	浜松学院大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
幼児教育科	年 2	人 140	年次 人 -	人 280	短期大 学士 (幼児 教育)	倍 1.01	昭和42 年度	静岡県浜松市中区 住吉二丁目3番1 号	平成20年度より幼 児教育科第一部か ら学科名称変更。

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の就任辞退及び辞任に係る学生の履修等への影響については、次のように考える。

当該科目の専任教員もしくは兼任教員を採用したことにより、学生の履修等への影響はほとんどないと考えている。

当該科目ではない専任教員を採用した科目もあるが、それについては、特に教育研究の充実のために必要であると考えた専任教員を採用したものである。

オリエンテーションで学生には周知し、また、ゼミナール等については後任教員への引継ぎ、退職教員の兼任教員としての採用等最大の配慮を行った。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時  (平成16年4月1日)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成16年5月1日)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成17年5月1日)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成18年5月1日)	浜松学院大学短期大学部幼児教育科第一部の入学定員超過の是正に努めること。	平成16年度から平成18年度の平均入学定員超過率は1.30であったが、平成18年度より定員増をしたこともあり、入学定員超過は、18年度1.07倍、平成19年度1.05倍となり、さらに平成20年度には0.98倍と入学定員超過の是正は達成した。	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成19年5月1日)	ファカルティ・ディベロップメント（授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究）への取組が大幅に遅延しているため、学部長の主導の下、教員が共同して取組み、組織的に速やかに実施すること。	教育方法部で以前から行っていた授業評価について、分析するとともに個々の結果とともにそれを各教員が分析し授業改善の取組み等を学内ホームページで公表している（資料1、2）。 さらに、ファカルティ・ディベロップメントにより積極的に取り組むために、学部長の主導の下、新たにFD委員会を組織した（資料3）。 また、教員相互の授業交流（授業参観）を実施した（資料4）が、それを拡大していきたいと考えている。さらには、新任教員研修を実施し、教育方法に関する研究会も実施する予定である。  (資料は「7(2)教員の資質の維持向上の方策」の後に添付。)	未履行ではないが、これからさらに履行していくこととして、教育方法部で以前から行っていた授業改善の取組み（資料1、2）について、新たに組織したFD委員会でさらに充実させていく（資料3）。 教員相互の授業交流（授業参観）（資料4）を促進、拡大させ、教育方法に関する研究会も実施する予定である。

## 7 その他全般的事項

<現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
<p>履修登録単位数の上限の設定 1 セメスターあたりの卒業要件科目の履修単位数上限を 標準として18単位 G P A 2.50以上 次期20単位、G P A 3.00以上 次期22 単位</p>	<p>学生の履修・単位取得状況から判断し、下記のように 履修単位数上限を改めた。 1 セメスターあたりの卒業要件科目の履修単位数上限を 標準として24単位 G P A 3.00以上 次期26単位</p>

## (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

### 実施体制

#### a 委員会の設置状況

FD活動については、平成16年の開学時から教育方法部が担当して、各種の研修会などに参加していた。平成20年4月からは、別途に学部長主導の下、FD委員会を立ち上げ、両学科長と教育方法部長、教務部長等を構成メンバーとしている(資料3)。

#### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成17年から自己点検評価委員会が中心となって学生の授業評価アンケートを実施した(資料1)。また、平成19年度からはFD活動を重視すべきであるとの部員の提案から教育方法部としてFD活動の実施について提案を行った。

#### c 委員会の審議事項等

教育方法部では、授業評価アンケートの実施を受けて、どのように授業改善に活かしていくかが審議事項となった。その結果、各自の授業評価アンケートを、各教員が分析し、授業改善にどのように取り組むかコメントして、それを学内ホームページで公表することとなり実施した(資料2)。

また、新たに組織したFD委員会では、授業改善のための基本方針、研修会及び講習会の開催に関する事項、教員の教育活動の相互研鑽に関する事項、学生の授業評価に関する事項、学生の勉学能力の育成に関する事項等を審議し、実行することとしている。

### 実施状況

#### a 実施内容

- ・ 授業方法について研究会 基礎演習担当者会議 情報担当教員会議
- ・ 学生による授業評価アンケートとそれを受けての個々の教員の授業分析と授業改善への取り組みの公表(資料2)
- ・ 教員相互の授業参観(資料4)
- ・ 新任教員のための研修会

#### b 実施方法

- ・ 授業方法について研究会 基礎演習担当者会議(現代コミュニケーション学科では開学時から随時に実施。平成19年度から両学科で継続的に実施している。)
- ・ 学生による授業評価アンケート 平成17年度から年2回実施。授業評価アンケートとそれを受けての個々の教員の授業分析と授業改善への取り組みの学内ホームページへの公表(資料2)。
- ・ 教員相互の授業参観 平成19年度から随時実施。19年度は、英語と経営学関係科目間で実施した(資料4)。
- ・ 新任教員のための研修会 従来は1年に1名程度の採用であったので、学科長や教務部長からの個別な指導で終わっていた。平成20年度に5名のまとまった採用があったので、4月2日に研修会を実施した。

#### c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・ 学生による授業評価アンケートについては年2回実施し、全教員が参加し、それを受けての授業改善への取り組みについてもほとんどの教員が参加した(資料2)。
- ・ 教員相互の授業参観については、同分野の科目間で授業参観を実施することとしたが、英語と経営学関係科目間での実施であり、平成20年度はそれをさらに拡大していく。
- ・ 基礎演習担当者会議や主題演習担当者会議は授業の実施曜日と会議設定曜日と同じであるために、時間的な余裕がなく、7割程度の教員しか出席できない場合もあり、メール方式によって対応することもあった。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケート結果を受けて、担当教員個々にシラバスの充実、予習内容の的確な指示や話す声の大きさ、スピードなど多様な授業改善への取り組みが見られている。
- ・ 平成17年度に授業評価アンケートを始めて実施した際には、担当教員の授業改善が主たる目的であったとした。しかし、全体的な観点から自己点検評価委員会でも内容について検討し、改善へと取り組むこととしている。

### ( 3 ) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

( 別紙のとおり )

自己点検・評価報告書

#### a 公表( 予定 ) 時期

・本学は、平成16年度に開学し、平成19年度に完成年度を迎えた。それを受けて自己点検・評価報告書については、平成20年8月公表予定である。

#### b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣大学及び企業等、その他希望がある公共団体に配布予定。

認証評価を受ける計画

・平成21年度に( 評価機関は日本高等教育評価機構を予定 ) 評価を受けるべく、学内で検討中。

(4) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成19年 6月 30日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( [http://www.hgu.ac.jp/univ\\_hp/disclosure/index.html](http://www.hgu.ac.jp/univ_hp/disclosure/index.html) )

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成19年 6月 30日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( [http://www.hgu.ac.jp/univ\\_hp/disclosure/index.html](http://www.hgu.ac.jp/univ_hp/disclosure/index.html) )